

令和6年度米陸軍との実動訓練(オリエント・シールド24)の概要について

名称の由来		英語で「東洋の盾」の意。東洋において想定される様々な脅威に対し、陸上自衛隊と米陸軍の部隊が「盾」として機能するよう、相互連携を強化する意思を示すもの。											
OS24の特色		○ 電子戦及びヘリボン等を連携させた諸職種協同による日米共同戦闘訓練 ○ 陸自FH-70及び米陸軍HIMARSに加え、米海兵隊HIMARSも参加する共同実射訓練 ○ サイバー攻撃対処に係る専門家交流											
訓練日程等 【凡 例】 ★:報道公開		月		7月									
		日		18	19	20	21	22	23	24	25	26	
		曜		木	金	土	日	月	火	水	木	金	
		訓練内容	饗庭野	★開始式	機能別訓練		共同戦闘訓練★		射撃予行	共同実射訓練		予備	終了式
			矢臼別		開始式	機能別訓練(予行)		共同実射訓練		予備	終了式		
		伊丹				サイバー専門家交流							
編成・ 装備	陸自	○ 主要部隊：第15即応機動連隊／第14旅団、第4大隊／中方特科連隊、1コ中隊／第2地对艦ミサイル連隊、第301・302電子戦中隊／北方・中方システム通信群、第303システム防護隊／サイバー防護隊 等（約1800名） ○ 主要装備：MCV×9両、FH-70×9門、中SAM×1コ発射機、CH-47×1機、AH-1S×3機、UH-1×3 等											
	米軍	○ 主要部隊：第1マルチドメイン・タスクフォース、第1大隊／第5歩兵連隊／第11空挺師団、第2戦闘航空旅団、第10支援群、第3大隊(HIMARS部隊)／第12海兵連隊／第3海兵師団 等（約 800名） ○ 主要装備：陸軍HIMARS×3コ発射機、海兵隊HIMARS×2コ発射機、CH-47×3機、AH-64×6機、UH-60×5機 等											
報道公開予定		○ 7月18日(木)：訓練開始式(饗庭野) ○ 7月22日(月)：日米共同戦闘訓練及び日米指揮官による共同記者会見(饗庭野)											
訓練イメージ		日米の戦闘行動 陸自:NEWS 陸自:CH-47			陸自:FH-70 米陸軍・海兵隊:HIMARS			日米グループ討議					
													
		日米共同(諸職種協同)による戦闘訓練 【饗庭野演習場】			対艦戦闘場面における日米共同実射訓練 【矢臼別演習場】			サイバー専門家交流(イメージ) 【伊丹駐屯地】					

OS24訓練等の時期及び場所(基準)

場 所	航空自衛隊計根別着陸場(北海道)
時 期	○ 令和6年7月15日(月)から7月18日(木) ○ 令和6年7月26日(金)から7月27日(土)
主要部隊	米軍:第1海兵航空団 等
実施事項	米軍のC-130による離着陸訓練
場 所	矢臼別演習場(北海道)
時 期	令和6年7月19日(金)から7月23日(火)
主要部隊	陸自:第4大隊/中方特科連隊 1コ中隊/第2地对艦ミサイル連隊 等 米軍:第1マルチドメイン・タスクフォース(HIMARS部隊) 第3海兵大隊(HIMARS部隊) 等
実施事項	対艦戦闘場面における日米共同実射訓練

場 所	饗庭野演習場(滋賀県)
時 期	令和6年7月18日(木)から7月26日(金)
主要部隊	陸自:第15即応機動連隊、1コ中隊/第8高射特科群 中部方面航空隊、第301・302電子戦中隊 等 米軍:第1大隊/第5歩兵連隊、 第2戦闘航空旅団、第10支援群、 第1マルチドメイン・タスクフォース 等
実施事項	○ 日米共同による機能別訓練 (ヘリボン、市街地戦闘、兵站訓練等) ○ 日米共同(諸職種協同)による戦闘訓練 ○ 日米各種火器による共同実射訓練

場 所	伊丹駐屯地(兵庫県)
時 期	令和6年7月22日(月)から7月26日(金)
参加部隊	陸自:第303システム防護隊/サイバー防護隊 米軍:第1マルチドメイン・タスクフォース(サイバー部隊)
実施事項	サイバー攻撃対処に係る専門交流

場 所	明野駐屯地(三重県)
時 期	令和6年7月10日(水)から7月29日(月)
参加部隊	陸自:中部方面航空隊、第14飛行隊 米軍:第2戦闘航空旅団、在日米陸軍航空大隊
実施事項	ヘリ発着基盤

